

令和2年度第1回広島県動物愛護管理推進協議会議事概要

令和2年8月3日開催

1 動物愛護管理推進計画における令和元年度の進捗状況の点検について

(1) 取組状況の点検結果

- 団体譲渡登録施設数が増加した。
- マイクロチップリーダーを配備した自治体数が増加した。
- 平成30年西日本豪雨災害への対応を基に、令和元年7月に同マニュアル及び同ガイドラインを改正し、「広島県災害時動物救護基本指針」、「広島県災害時動物救護要領」、「広島県動物救護活動マニュアル（本部編及び地域支部編）」、「ペット受け入れのための避難所等運営ガイドライン」に再編成した。

(2) 令和元年度動物愛護管理実績

- 平成30年度に比べ県内の収容頭数について、犬猫ともに減少した。
- 平成30年度に比べ県内の致死処分頭数について、犬猫ともに増加した。
- 県動物愛護センター所長から致死処分頭数増加の説明があった。
 - ・ 従来は重度の怪我や病気で治癒の見込みのない犬猫を致死処分対象としていたが、「動物愛護管理基本指針」の見直しを基に食品生活衛生課と当所で致死処分の方針を整理し、令和2年2月から「譲渡することが適切ではない（治癒の見込みがない病気や攻撃性がある等）※環境省分類①（資料 P30）」を致死処分対象としたため犬の致死処分頭数が増加した。
 - ・ 猫については判断基準を変えたことによる致死処分頭数の増加はなかったが、収容頭数の増加に伴い重篤な負傷猫の収容も増え、致死処分頭数が増加した。

2 令和元年度の重点取組方針への取組結果及び令和2年度重点取組方針について

各動物愛護（管理）センター所長から取組結果等について説明があり、了承された。

3 広島県動物愛護管理推進計画における計画の見直しについて

広島県動物愛護管理推進計画における計画の見直しについて事務局から説明を行った。

なお、委員から次のとおり意見等があった。

- 数値目標については他の自治体の状況を確認した上で決定した方が良い。
- 野良犬・野良猫の多い地域と少ない地域では何が違うのか。例えば自然条件もほぼ同じなのに頭数に違いがある。このような原因が判明できれば引取り頭数削減につながるのではないかと。

4 県動物愛護センターの移転整備の進捗状況について

移転整備の進捗状況について事務局から情報提供を行った。